



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 イントランス

コード番号 3237 URL <http://www.intrance.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 麻生 正紀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門管掌兼経理・総務部長 (氏名) 濱谷 雄二

TEL 03-6803-8100

四半期報告書提出予定日 平成24年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	549	△42.6	31	△86.7	△56	△125.6	△78	△135.6
24年3月期第2四半期	956	—	232	—	219	—	219	—

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 △78百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 219百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第2四半期	△542.56	—
24年3月期第2四半期	1,523.08	1,308.70

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
25年3月期第2四半期	4,066	1,475	24.2	6,830.20
24年3月期	2,806	2,093	37.9	7,372.76

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 984百万円 24年3月期 1,062百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)平成25年3月期の期末配当予想については、現時点において未定であるため記載しておりません。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	4,100	140.9	450	30.3	400	36.5	400	20.6	2,775.79

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	144,405 株	24年3月期	144,405 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	302 株	24年3月期	302 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	144,103 株	24年3月期2Q	144,003 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・当社は、平成24年11月7日にアナリスト向けの第2四半期決算説明会を開催する予定です。当日使用する第2四半期決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景として緩やかな回復傾向が続いているものの、欧州債務危機や海外景気下振れ等の影響を受け、国内景気の本格的な回復が遅れており、全体的に不透明な状況が続いております。

当社グループが属する不動産業界におきましては、売買市場では本年に入り4年半ぶりにREITが新規上場し、また海外投資家が不動産投資再開の動きを見せるなど、回復の兆しが見えておりますが、賃貸市場ではオフィスビルの大量供給によって空室率が上昇し、賃料水準も弱含みに推移しております。

このような状況下、当社グループはプリンシパルインベストメント事業において企画力を活かした所有物件のバリューアップ活動及び売却活動に注力してまいりました。また、ソリューション事業において取引先に対し付加価値の高いソリューションを提供してまいりました。

これらにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は549,223千円(前年同四半期比42.6%減)、営業利益は31,069千円(前年同四半期比86.7%減)、経常損失は56,356千円(前年同四半期は経常利益219,879千円)、四半期純損失は78,185千円(前年同四半期は四半期純利益219,328千円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(プリンシパルインベストメント事業)

プリンシパルインベストメント事業におきましては、権利関係の調整が順調に進んだ販売用不動産を売却したものの、予定していた大型物件の売却の期ずれがあったことにより売上高は400,000千円(前年同四半期比40.4%減)、セグメント利益は113,620千円(前年同四半期比47.1%減)となりました。

(ソリューション事業)

ソリューション事業におきましては、新規の建物管理受託に注力した結果、管理受託物件数が順調に増加し、またバリューアップが終了した物件の賃料収入が寄与したものの、大規模な売買仲介案件等が減少したことにより売上高は149,223千円(前年同四半期比47.7%減)、セグメント利益は72,813千円(前年同四半期比70.4%減)となりました。

なお、報告セグメントの利益の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は前連結会計年度末に比べ1,310,947千円増加し4,041,832千円となりました。これは主として現金及び預金が396,180千円増加したこと、及びバリューアップ費用の計上により販売用不動産が970,591千円増加したこと等によるものです。固定資産は前連結会計年度末に比べ51,443千円減少し24,552千円となりました。この結果、資産合計は前連結会計年度末と比べ1,259,504千円増加し4,066,384千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、流動負債は前連結会計年度末と比べ2,041,358千円増加し2,590,785千円となりました。これは主として短期借入金が1,830,000千円増加したこと等によるものです。固定負債は前連結会計年度末に比べ163,669千円減少しました。これは長期借入金の返済による減少163,669千円があったことによるものです。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ1,877,689千円増加し2,590,785千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ618,185千円減少し、1,475,599千円となりました。これは主として少数株主持分が540,000千円減少したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、474,725千円となりました。

また、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は608,340千円(前年同四半期は740千円の獲得)となりました。これは主として前受金の増加279,999千円や前渡金の減少88,147千円等があったものの、販売用不動産の増加970,591千円等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は28,192千円(前年同四半期は1,077,756千円の使用)となりました。これは主として関係会社の整理による収入28,393千円等があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は976,328千円(前年同四半期は1,192,818千円の獲得)となりました。これは主として短期借入れによる収入1,970,000千円等があったものの、少数株主への払戻による支出540,000千円と長期借入金の返済による支出416,591千円等があったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間は78,185千円の四半期純損失を計上したものの、当社グループの主力事業であるプリンシパルインベストメント事業において、期ずれはありましたが現在進行中の複数のプロジェクトが順調に推移していることから、現時点における平成25年3月期の通期業績予想につきましては、平成24年5月10日付「平成24年3月期決算短信(連結)」にて発表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	78,545	474,725
売掛金	10,143	12,096
営業投資有価証券	134,486	132,597
販売用不動産	2,334,341	3,304,933
その他	173,367	117,480
流動資産合計	2,730,884	4,041,832
固定資産		
有形固定資産	6,410	5,693
無形固定資産	1,952	1,280
投資その他の資産	67,632	17,579
固定資産合計	75,995	24,552
資産合計	2,806,880	4,066,384
負債の部		
流動負債		
短期借入金	300,000	2,130,000
1年内返済予定の長期借入金	85,844	—
賞与引当金	7,703	5,167
その他	155,878	455,617
流動負債合計	549,426	2,590,785
固定負債		
長期借入金	163,669	—
固定負債合計	163,669	—
負債合計	713,095	2,590,785
純資産の部		
株主資本		
資本金	931,877	931,877
資本剰余金	701,877	701,877
利益剰余金	△568,841	△647,026
自己株式	△2,476	△2,476
株主資本合計	1,062,436	984,251
新株予約権	41,348	41,348
少数株主持分	990,000	450,000
純資産合計	2,093,785	1,475,599
負債純資産合計	2,806,880	4,066,384

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	956,578	549,223
売上原価	496,248	362,790
売上総利益	460,330	186,433
販売費及び一般管理費	227,338	155,364
営業利益	232,991	31,069
営業外収益		
受取利息	27	138
未払配当金除斥益	550	—
還付加算金	—	58
営業外収益合計	577	196
営業外費用		
支払利息	6,058	31,338
資金調達費用	7,179	56,283
その他	451	—
営業外費用合計	13,689	87,622
経常利益又は経常損失(△)	219,879	△56,356
特別損失		
関係会社整理損	—	21,306
特別損失合計	—	21,306
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	219,879	△77,663
法人税、住民税及び事業税	550	521
法人税等合計	550	521
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	219,328	△78,185
四半期純利益又は四半期純損失(△)	219,328	△78,185

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	219,328	△78,185
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	219,328	△78,185
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	219,328	△78,185
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	219,879	△77,663
減価償却費	1,651	1,389
賞与引当金の増減額(△は減少)	△309	△2,535
受取利息	△27	△138
支払利息	6,058	31,338
資金調達費用	7,179	56,283
関係会社整理損	—	21,306
売上債権の増減額(△は増加)	478,359	△1,952
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△96,000	1,889
たな卸資産の増減額(△は増加)	△969,270	△970,591
前渡金の増減額(△は増加)	10,000	88,147
前受金の増減額(△は減少)	324,222	279,999
その他の資産の増減額(△は増加)	3,761	△45,058
その他の負債の増減額(△は減少)	31,748	24,155
その他	708	53
小計	17,961	△593,375
利息の受取額	27	138
利息の支払額	△5,903	△25,290
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△11,344	10,187
営業活動によるキャッシュ・フロー	740	△608,340
投資活動によるキャッシュ・フロー		
関係会社の整理による収入	—	28,393
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,077,791	—
貸付けによる支出	—	△20,000
貸付金の回収による収入	—	20,000
その他	35	△201
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,077,756	28,192
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	250,000	1,970,000
短期借入金の返済による支出	—	△140,000
長期借入れによる収入	—	167,078
長期借入金の返済による支出	△100,000	△416,591
少数株主からの払込みによる収入	1,050,000	—
少数株主への払戻による支出	—	△540,000
手数料の支払額	△7,179	△64,158
その他	△1	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,192,818	976,328
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	115,802	396,180
現金及び現金同等物の期首残高	178,223	78,545

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び現金同等物の四半期末残高	294,026	474,725

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	プリンシパル インベストメント事業	ソリューション事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	671,393	285,185	956,578
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	671,393	285,185	956,578
セグメント利益	214,639	245,691	460,330

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	プリンシパル インベストメント事業	ソリューション事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	400,000	149,223	549,223
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	400,000	149,223	549,223
セグメント利益	113,620	72,813	186,433

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。